

特別支援教育の質の担保 と教員の負担の軽減を！

2022年9月 町田市議会 一般質問 矢口まゆ

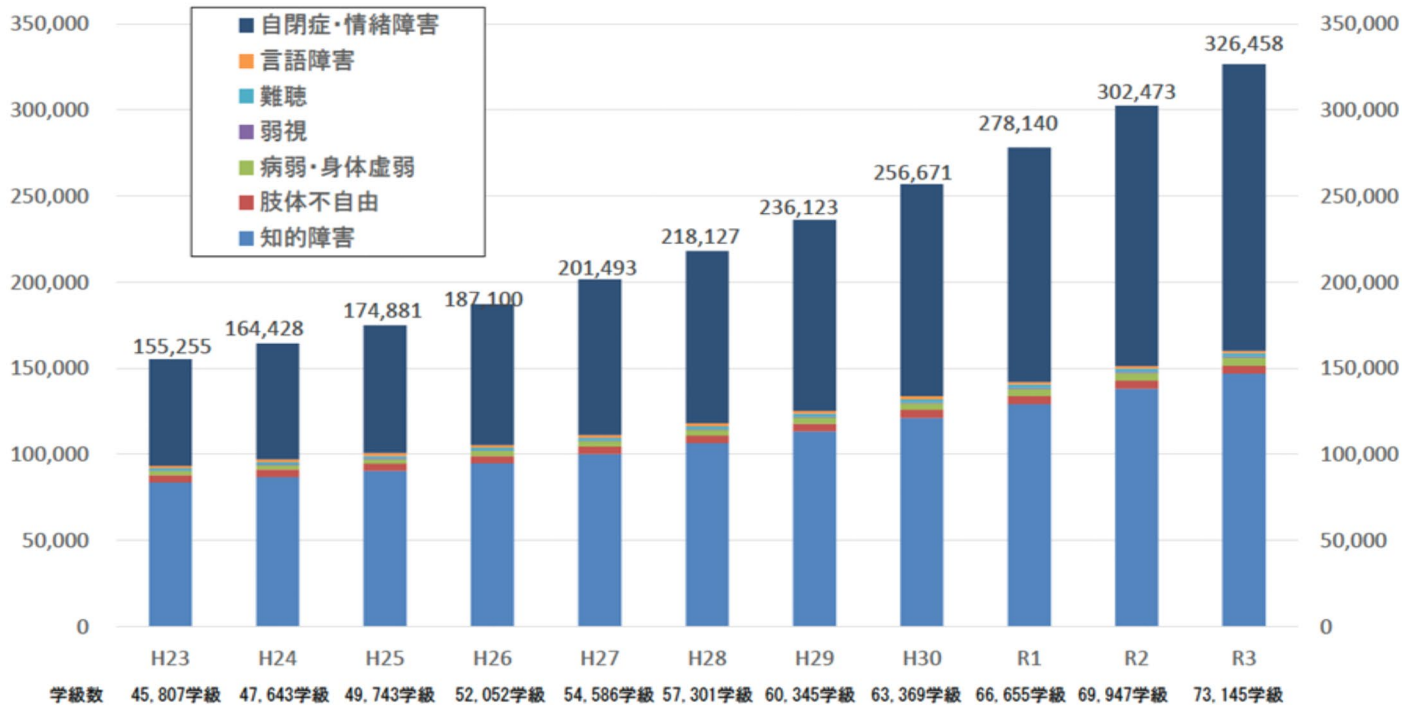
・特別支援教育の全国的な課題

専門性を持って指導できる教師の不足

特別支援学級の児童生徒数・学級数



特別支援学級在籍者数の推移(各年度5月1日現在)



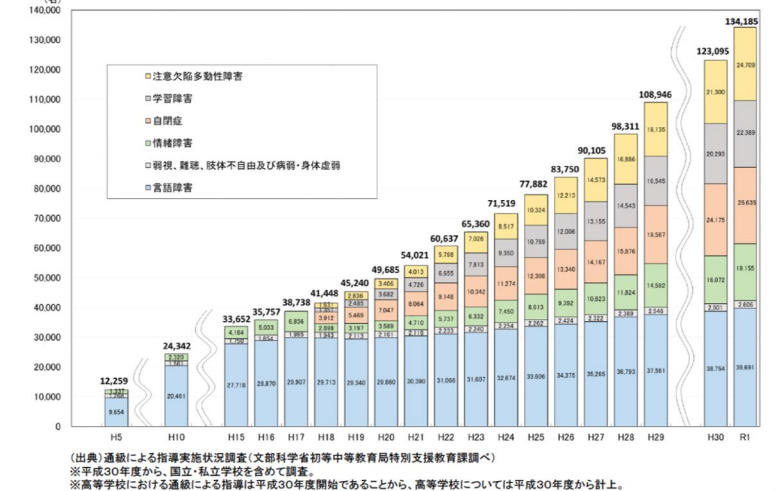
- ▶ 特別支援学級の児童生徒数はこの10年で倍増
- ▶ 通級を利用する児童生徒数も同じように倍増



通級による指導を受けている児童生徒数の推移



通級による指導を受けている児童生徒数の推移(各年度5月1日現在)



(出典)通級による指導実施状況調査(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課調べ)
 ※平成30年度から、国立・私立学校を含めて調査。
 ※高等学校における通級による指導は平成30年度開始であることから、高等学校については平成30年度から計上。

【令和3年度の状況】

	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	弱視	難聴	言語障害	自閉症・情緒障害	計
学級数	31,227	3,191	2,883	544	1,341	692	33,267	73,145
在籍者数	146,948	4,653	4,618	631	1,931	1,355	166,322	326,458

(出典)学校基本調査

令和4年3月31日特別支援教育を担う教師の養成、採用、研修等に係る方策について(通知)

専門性を持って指導できる教師の不足

特別支援教育に関わる教師の専門性向上に向けた方策

●が検討会議のアウトプット・方向性

別添2



文部科学省

現状・課題

- ・特別支援教育の「個別最適な学び」と「協同的な学び」に関する知見や経験は、障害の有無にかかわらず、教育全体の質の向上に寄与。
⇒ **特別支援教育の専門性を担保しつつ、特別支援教育に関わる教師を増やしていくことが必要。**
- ・特別支援教育を必要とする児童生徒数が増えている一方で、小学校で70.6%、中学校で75.4%の校長が、特別支援教育に関わる経験が無い。
⇒ **多くの学校で特別支援学級等で教職経験の無い校長が特別支援教育を含む学校経営を実施。**
- ・小学校等の特別支援学級の臨時的任用教員の割合は、学級担任全体における臨時的任用教員の割合の倍以上。
⇒ **特別支援教育に関わる教師が、他の教師と比べて、長期的視野にたって計画的に育成・配置されているとはいえない状況。**

①養成段階での育成

- 特別支援学校教諭免許状の教職課程の内容や水準を全国的に担保するため、共通的に修得すべき資質能力を示したコアカリキュラムの策定
- 教育実習、介護等体験で、特別支援学校、特別支援学級等の経験を推奨
- 大学間連携による単位互換制度の促進など、免許取得・単位取得を可能とする体制整備
- 教育委員会との連携による実践力の養成（実務家教員、教職大学院等）

②採用段階での工夫

- 特別支援教育の経験を採用時に考慮
- 採用後10年以内に特別支援教育を複数年経験

③校内体制の整備、キャリアパスの多様化、人事交流の推進による専門性向上

- 特別支援学校において、特別支援学校教諭免許状を有しない教師の条件を限定
- 校内研修、交換授業、OJTの推進
- 特別支援学級等の教師による特別支援学校への人事交流の充実
- 管理職の任用にあたり、特別支援教育の経験を考慮
- 学校経営方針等に特別支援教育に関する目標を設定し、校内体制を整備



⑤ 国による調査・把握 → 大学、教育委員会へのフィードバックによる改善 ※下記は現時点における調査項目の例

- 【養成】・視覚障害領域、聴覚障害領域免許を取得できる大学数
- 【採用】・特別支援学校教諭免許状保有者への加給等の工夫を行っている教育委員会の数
- 【キャリアパス】・採用後、10年目までに特別支援教育を経験した教師の割合
・小学校等の校長の特別支援教育に関わる教職経験の有無
- 【研修】・免許を保有しない特別支援学校の教師について、免許取得計画の作成状況の有無、単位取得状況
・教員育成指標において特別支援教育を明確に位置付けている任命権者の数
・特別支援学校教諭免許状保有率 ・(独) 国立特別支援教育総合研究所 (NISE) 学びラボの利用者数 等

④研修（校外）による専門性向上

- 教育委員会の教員育成指標等を踏まえ、キャリアパスに応じた活用ができるようコンテンツを整理・体系化 (NISE)
- 研修の手引作成 (NISE)

スケジュール

- ・特別支援学校教諭免許状コアカリキュラム
 - R4.7頃：策定・周知（以降、大学の教職課程の点検・見直し）
 - R5.4又はR6.4：コアカリキュラムに基づく教職課程開始
- ・上記以外の事項
 - 各関係者において速やかに検討・対応に着手し、R6年度には実現できるよう取り組む。

初任者研修

中堅教諭等資質向上研修

主任研修、管理職研修 等

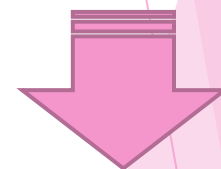
- NISE（学びラボ、免許法認定通信教育）等のオンラインコンテンツの整理・充実



教育委員会

▶ 通常の学級における発達障害（LD・ADHD・高機能自閉症等）の可能性のある児童生徒：6.5%程度の在籍率。
（平成24年文部科学省の調査より）

▶ 採用後10年以内に特別支援教育を複数年経験させる方針。



特別支援学級や通級の教師はもちろん、通常学級の教師も含め、専門性が必要であることが指摘されており、それに対する方策も文科省からは打ち出されている。

令和4年3月31日特別支援教育を担う教師の養成・採用、研修等に係る方策について(通知)

今すぐに全ての教師の専門性を向上させる方法は...？

株式会社 LITALICOが、特別支援教育に特化した教育ソフトを開発。

▶ <https://s-edu-soft.litalico.jp>

アセスメントの種類



保護者へのアンケート
(子どもの基本情報)



スキルの習得状況に関するアンケート



行動面の困りに関するアンケート



感覚と運動の困りに関するアンケート



学習面の困りに関するアンケート

アセスメントの結果 (サンプル)

感覚・運動面の困り 2022年5月13日実施

児童生徒の特性のうち、感覚・運動面の実態を把握することができます。
高く表示されているものは、感覚・運動面の特性由来の困りを抱えている可能性が高いです。【所要時間：約10分】

児童生徒の特性由来の感覚・運動面の困りについて、[非常に高い]、[高い]、[平均的]の3段階で評価しています。



編集

新規実施 +

今すぐに全ての教師の専門性を向上させる方法は...？

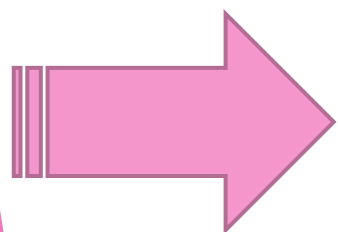
株式会社 LITALICOが、特別支援教育に特化した教育ソフトを開発。

▶ <https://s-edu-soft.litalico.jp>

- ▶ 保護者へのアンケート、アセスメントの実施、個別計画の作成など、専門的な知識が必要な部分を徹底サポート。
- ▶ 個別計画にある目標に紐づく教材も提案。そのままダウンロードして利用可能。
- ▶ **導入済みの学校**では、**通常学級の児童生徒の指導にも**役に立っているという声も。

(※通常の学級における発達障害 (LD・ADHD・高機能自閉症等) の可能性のある児童生徒：6.5%程度の在籍率。)

また、子どもと接する時間が短く、1人の先生が**対応する児童生徒数が多くなる通級の指導でも、1人1人の特性に合わせた教材を用意するのに助かる**という声。



専門性の向上だけでなく、書類の作成や管理、教材の準備などのサポートは、**教師の負担軽減**になる。

町田市の特別支援教育を受ける児童生徒数は...

2021年度 町田市課別・事業別行政評価シートより

3.事業の成果
①成果指標の目標と実績

成果指標名	単位	区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
特別支援学級の児童数	人	目標	-	-	-	-	-	小学校の特別支援学級(固定級)の在籍児童数
		実績	488	508	516			
サポートルーム、通級指導学級の児童数	人	目標	-	-	-	-	-	小学校のサポートルーム、通級指導学級の利用児童数
		実績	1,103	1,227	1,381			

②成果指標およびその他成果の説明

3.事業の成果

①成果指標の目標と実績

成果指標名	単位	区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
特別支援学級の生徒数	人	目標	-	-	-	-	-	中学校の特別支援学級(固定級)の在籍生徒数
		実績	217	233	225			
サポートルーム、通級指導学級の生徒数	人	目標	-	-	-	-	-	中学校のサポートルーム、通級指導学級の利用生徒数
		実績	197	209	261			

②成果指標およびその他成果の説明

◆サポートルームの拠点校に新たに町田第二中学校、木曽中学校、真光寺中学校を設置し、さらに9校で巡回指導を開始しました。その結果、全中学校でサポートルームの巡回指導が実施されました。

▶ 小学生1897名

▶ 中学生486名

一人一人の特性に合わせた指導が必要で10人いれば10人それぞれに個別の計画が必要な特別支援教育の現場では、**担当教師の専門性が質に大きく影響**する。

国の施策が現場全体へ広がっていくのはまだ何年も先になる。

今、特別支援教育を受けている子どもたちに、一定水準以上の教育の質の担保をするには、アセスメントから個別計画策定、それに合わせた教材提案が瞬時に行えるこのシステム以外にはないのでは。